

# 記者配布資料

平成 26 年(2014 年)7 月 14 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学 長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	国際文化学研究科長 い お ふみたか 井生 文隆	国際文化学研究科 みずたに ゆみこ 教授 水谷 由美子	083-928-2550 090-7776-9763
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

## 1 件名

地域文化の活性化と持続可能性 ― 周防大島を小旅行しながら語ろう ―  
(山口県立大学大学院国際文化学研究科「文化コーディネート論」公開シンポジウム)

## 2 趣旨

自然や歴史、文化などが活かされたまちづくりの実践が行われている周防大島にて、  
標記シンポジウムを開催します。地域文化の活性化と持続可能性をテーマに、パネラー  
による実践事例紹介や大学院生による研究発表を行った後、地域の皆様と一緒に、地域  
における豊かな暮らしの共創について語り合います。  
また、関連イベントとして、作品展も開催します。

## 3 日時・場所等

### ●シンポジウム「地域文化の活性化と持続可能性」

日時：平成 26 年 7 月 26 日（土） 15：30～（開場 15：00）

場所：荘厳寺（山口県大島郡周防大島町日前／TEL 0820-73-0351）

### ●作品展「New Farmer's Device ～農業を楽しみたい人へ～」

日時：平成 26 年 7 月 27 日（日）～ 8 月 5 日（火） 10：00～18：00

場所：瀬戸内 Jam's Garden & Farm（TEL 0820-73-0002）

## 4 登壇者

パネラー 白鳥 文明（荘厳寺住職 島くらす顧問）  
三上 清仁（なかつ美術館ディレクター）  
城戸 宏史（北九州市立大学大学院教授）  
高嶋 秀樹（株式会社宇迦匠取締役）  
国際文化学研究科「文化コーディネート論」受講生  
モデレーター 水谷 由美子（国際文化学研究科教授／「文化コーディネート論」担当）

## 5 その他

公開シンポジウムを含む小旅行も企画しています。（大学からの無料バスを利用）  
※ 要申込み（定員 30 名程度）／詳細は別添チラシ参照。

## 6 問合せ・申込先

山口県立大学企画デザイン研究室（担当：水谷）

Phone/Fax：083-928-2550 090-7776-9763

E-Mail：myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

# 文化コーディネート論

## 地域文化の活性化と持続可能性

— 周防大島を小旅行しながら語ろう —

### ● 公開シンポジウム

日時：2014.7.26 (土) 開場 15:00  
開演 15:30

場所：荘厳寺(山口県大島郡周防大島町日前)  
TEL 0820-73-0351

入場無料

#### パネラー

白鳥文明氏 (荘厳寺住職 島くらす顧問)  
三上清仁氏 (なかた美術館ディレクター)  
城戸宏史氏 (北九州市立大学大学院教授)  
高嶋秀樹氏 (株式会社宇迦匠取締役)  
文化コーディネート論受講生

#### モデレーター

水谷由美子 (山口県立大学大学院国際文化学研究科教授)  
(文化コーディネート論担当)

#### \*小旅行のご案内

公開シンポジウムを含む小旅行への参加は  
大学からの無料バスを利用できます。

#### ■スケジュール

9:00 バス出発 大学 D 館前 (予約制)  
12:00 ランチトーク 大野圭司氏 於荘厳寺 (弁当要予約 500円)  
13:00 道の駅サザンセトとうわ 見学  
14:20 ジャムズガーデン 見学  
15:00 荘厳寺到着 開場  
15:30 公開シンポジウム  
18:00 交流会 (要予約 2,500円)  
20:00 バス出発  
22:40 大学到着

主催：山口県立大学大学院 国際文化学研究科  
協力：島くらす～周防大島 UIターンを応援する会  
荘厳寺  
瀬戸内 Jam's Garden & Farm

### ● 関連イベント: 作品展

New Farmer's Device

～農業を楽しみたい人へ～

日時：2014.7.27 (日) - 8.5 (火)  
10:00 - 18:00

場所：瀬戸内 Jam's Garden & Farm  
TEL 0820-73-0002 定休日 水・木曜日

#### 問い合わせ・申し込み先

山口県立大学企画デザイン研究室  
Phone/Fax: 083-928-2550 090-7776-9763  
E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp (担当: 水谷)  
荘厳寺  
Phone: 090-8996-0612  
E-mail: 47hongan@gmail.com (担当: 白鳥)

# 文化コーディネート論

## 地域文化の活性化と持続可能性 - 周防大島を小旅行しながら語ろう -

公開シンポジウム 日時：2014年7月26日（土） 場所：荘厳寺 大島郡周防大島町日前

まちづくりは地域にあるものを強みとして認識し、それを活かす活動の持続可能性が成否を分けるのではないのでしょうか。地域間の競争の時代に入っている現在、地域の個性の創造が求められています。地域の資源は地域内外の人々が繋がり、連携することによって魅力あるものとして発掘されます。周防大島では自然や歴史、文化などが活かされたまちづくりの実践が行われ、近年移住者が増えてきています。海に囲まれた美しい島で、夏のひととき、地域における豊かな暮らしの共創を一緒に語り合しましょう。皆様お誘い合わせの上、ご来場下さい。

### プレゼンテーション

#### ① New Farmer's Device ~ 農業を楽しみたい人へ ~

小野飛鳥 小田玲子 甲斐少夜子 (国際文化学研究所 1年)

農業従事者の高齢化や後継者不足による農業人口の減少が問題とされる中、新たに農業従事者を得るためには、現代のライフスタイルに合わせた使いやすくスタイリッシュな device [道具・仕掛け・工夫] が必要であると考えます。これから農業をやってみたくて考えている若い人や都会からの移住者に向けて、ファッションやプロダクトの分野から、ムーブメントを起こすべく新たな開発にチャレンジします。

#### ② 健康保全型農業とは？ - 山口県の豊かな食文化を応援 -

李俊穎 藤井由美子 森光寛子 (国際文化学研究所 1年2年)

より文化的な生活に価値がおかれつつあるなか、食文化、その中でも環境と健康との結びつきが深い農産物に焦点をあてました。環境に、健康に心にやさしい未来へつながる農業を健康保全型農業と名づけ、そこにある問題点と解決へ向けた取り組みを紹介し、提言します。特に「有機野菜」「無農薬野菜」についての理解を深め周知させるために、他国の状況も伝えながら、冊子というメディアを通じて主に子育て世代へ発信します。

#### ③ 日中のお茶文化を相互理解に役立たせる - 屋台での喫茶を試みて -

下瀬一正 王星慧 岡村理恵 (国際文化学研究所 1年2年)

日中文化がより深まることを目的として、中国の庶民にとって身近で馴染みのある屋台を簡易に作り、日本のお茶文化を留学生や日本に住む外国人、また中国のお茶文化を日本の人々に、お茶の歴史、作法、種類、器などを通して紹介します。山口市内にてお茶の紹介を屋台で実施するとともにアンケートをとり、お茶文化に対する認知度や嗜好を検証します。

#### ④ ボディーツリズムによる地域活性化について

高嶋秀樹 (株式会社宇迦匠取締役)

「健康三昧県 山口」というテーマで県内外から多くの人達に訪問して貰える地域活性化を解説します。ボディマイレージ論を通して、山口の「食」、「運動」、「温泉」の魅力を具体的に示し、新たな価値創出とビジネスモデルの構築の仕方を説明。また他県者にそれらが魅力としてどの様に映るのか、なぜ訪れたいのかを顧客心理から考えます。また既存資源の弊害とその対策も併せて解説。更に、スタートした瀬戸内エリアの観光化、来年から始まるNHK大河ドラマによる影響も併せて解説します。

#### ⑤ 小さな街と小さなアーカイブ

三上清仁 (なかた美術館ディレクター)

1. 収集活動を行う場合は、街の中に無意識の徘徊者であること。※このことは、「大学に通う、バイトに行く」収集活動とは全く別の目的を持っている場の行動でも同様と考えます。2. 何かをするための情報や知識を集めるのではなく、身体に受けている物理的ストレスを意識し、現象や物事の収集を行います。3. 失われた街の記憶に限りなく近づいたこと(無意識のため気づくことが出来ない)の検証を行います。

#### ⑥ 地域文化を生かした事業創造のために

城戸宏史 (北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授)

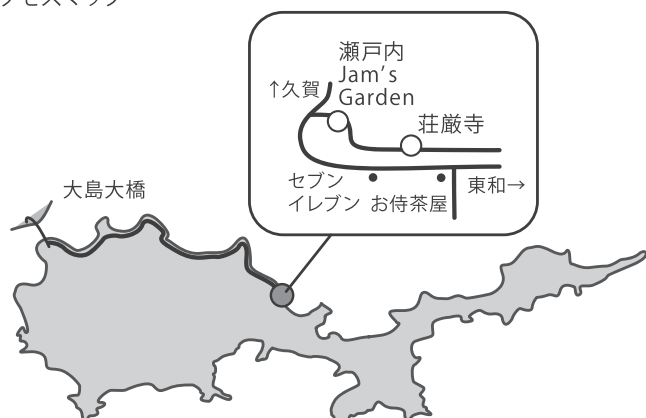
地域文化に着目し、様々な担い手をコーディネートし、事業を生み出していくことは、極めて意義のある取り組みです。ただ、その意義ある取り組みも、事業性を欠くと一時的なもので終わってしまいます。継続性のある事業とするためには、非営利活動であっても、まずはマーケティングを意識する必要があります。そして、担い手同士からなるチームのマネジメントの重要性を自覚する必要があります。ぜひ、2つの「マ」を心に刻んで頂きたいと思います。

#### ⑦ 周防大島町へのUターン者を応援する会「島くらす」について

白鳥文明 (荘厳寺住職 島くらす顧問)

過疎高齢日本一と言われたこの島でいま、若者たちが主役になった新しい活動が芽吹きはじめたのです。数年前までこの島では考えることもできなかった現象です。周防大島町に移住して活躍していた数名の若者を中心にして、自らのUターン者としての体験を通し、この町で暮らしたい人々を呼び込み支援しようと立ち上がった「島くらす」について活動を紹介します。

#### アクセスマップ



大島大橋を渡って左折。国道を道なりに、二つ目のトンネルを過ぎ約2キロ先を左折。左折する手前左手にジャム屋の看板有り。

#### 問い合わせ先・申し込み先

山口県立大学からバスで参加される方・自家用車の方

山口県立大学企画デザイン研究室

Phone: 083-928-2550 / Fax: 090-7776-9763

E-mail: myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp (担当: 水谷)

周防大島から参加される方

荘厳寺

Phone: 0820-73-0351 090-8996-0612

E-mail: 47hongan@gmail.com (担当: 白鳥)